

授業科目(ナンバリング)	臨床心理学 (IA306) (実践的教育科目)			担当教員	中村 尚生 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
臨床心理学とは、心理的な問題や不適応行動などの援助、回復、予防、その研究を目的とする心理学の一分野である。この講義では、心理的な問題や心理アセスメント、心理療法などの臨床心理学の基礎的な知識について学ぶ。人のこころの問題について、グループワークやペアワーク、ディスカッション、心理検査の体験、ロールプレイ等を通じた実践的な学習を通して、自己理解や他者理解を深め、職場で役立つコミュニケーション能力を磨き、ディプロマポリシーの到達に向け、豊かな人間性を身につけることを目標とする。							②⑤⑦⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法		評価比率
専門力	心理的な問題や心理アセスメント、心理療法などの臨床心理学の基礎的な知識を説明できる。 食に関する問題（摂食障害など）について具体的にイメージし、その症状を説明できる。				定期試験 小レポート		30% 10%
情報収集、分析力	心理学の知識や視点を踏まえて自己分析し、自分自身や他者を多角的に捉えることができる。				授業への取組み		10%
コミュニケーション力	心理学で学んだ知識を踏まえ、自身の考えを表現できる。 ペアワークやグループワークに主体的に参加し、自身の考えを表現できる。				定期試験 授業への取組み		10% 10%
協働・課題解決力	食に関する問題に対する対処方法・留意点について説明できる。 ペアワークやグループディスカッションにおいて、互いの立場を尊重し、協働できる。				小レポート 授業への取組み		10% 10%
多様性理解力	様々な立場や考えの違いがあることを理解、尊重した言動や振る舞いができる。				授業への取組み		10%
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価は、定期試験 40%、小レポート 20%、授業への取組み 40%の配分で行う。定期試験は、選択形式と記述形式で問う。選択形式では、授業で扱った臨床心理学に関する基本的な知識についての理解がどの程度できているかを評価する。記述形式では、設問に対してどの程度主体的かつ丁寧に自分の意見を述べるができるかを評価する。授業内レポートは、第5回目にポートフォリオを通して課す小レポートの内容を評価する。授業への取組みについては、毎回の授業終了時の小テスト（コメントカード）の内容と授業中の受講態度、発言内容等を評価する。なお、小テスト（コメントカード）の内容については、翌週の講義内にてフィードバックを行い、小レポートについてはポートフォリオを通してコメントを返却する。							
授業の概要							
臨床心理学、精神障害、発達障害、来談者中心療法、精神分析、認知行動療法、心理アセスメント等のテーマについて、基本的にパワーポイントを中心にした講義を行う。受講人数やテーマに応じて、自己理解を深めるための心理検査の体験、相談・助言のためのコミュニケーション技術を身につけるためのペアワークやグループワーク、ディスカッション、ロールプレイなど、参加型の授業も取り入れる。なお、担当教員は公認心理師、臨床心理士の資格保有者であり、臨床心理士としての勤務経験を活かして授業を展開する。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない。適宜資料を配布する。 参考書：適宜提示する。 指定図書：藤田哲也監修・串崎真志編著「絶対役立つ臨床心理学 カウンセラーを目指さないあなたにも」ミネルヴァ書房							
授業外における学修及び学生に期待すること							
日頃からこころの問題に関心を持ち、授業で扱うトピックについて予習・復習を行うことを期待する。また、積極的な関心を持って授業に臨み、特に参加型の授業においては積極的な発言・参加を期待する。授業中の私語や理由のない遅刻等、態度の悪い者には厳しく対処する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	臨床心理学とは何か	心理学におけるこころのとらえ方と、臨床心理学の範囲・領域について理解する。	臨床心理学、こころなどのキーワードについて予習し、授業内容を復習する。
2	臨床心理学の対象①	統合失調症、抑うつ障害、双極性障害（躁うつ）、不安障害、強迫性障害、人格障害などの精神障害について学ぶ。	講義で扱う精神障害について予習し、パワーポイントの内容を復習する。
3	臨床心理学の対象②	自閉症スペクトラム障害（ASD）、ADHD、LD、知的発達障害、運動障害などの発達障害について学ぶ。	講義で扱う発達障害について予習し、パワーポイントの内容を復習する。
4	臨床心理学の対象③	PTSD、睡眠障害、引きこもり、不登校などのこころが影響して起こる様々な問題について学ぶ。	講義で扱う心の問題について予習し、パワーポイントの内容を復習する。
5	臨床心理学の対象④	摂食障害などの食が関連するこころの問題について学ぶ。	摂食障害について予習しておく。講義の内容を踏まえて、小レポートを作成する。
6	臨床心理学の対象⑤ 心理アセスメント①	認知症について学ぶ。 知能検査、発達検査を中心に心理アセスメントの方法について学ぶ。	認知症・心理検査について予習し、パワーポイントの内容を復習する。
7	心理アセスメント②	YG 性格検査、MMPI、エゴグラムなどの質問紙を用いた性格検査を中心に心理アセスメントの方法について学ぶ。実際に心理検査を体験し、結果を自己分析する。	自身の性格について予め考え、心理検査の結果を自己分析することを復習とする。
8	心理アセスメント③	ロールシャッハテスト、バウムテスト、P-F スタディ、SCT などの投影法を用いた性格検査を中心に心理アセスメントの方法について学ぶ。	投影法について予習し、パワーポイントの内容を復習する。
9	心理療法①	精神分析を中心とした心理療法について学ぶ。	精神分析について調べ、パワーポイントの内容を復習する。
10	心理療法②	来談者中心療法を中心とした心理療法について学ぶ。	来談者中心療法について調べ、パワーポイントの内容を復習する。
11	心理療法③	認知行動療法を中心とした心理療法について学ぶ。	認知行動療法について調べ、パワーポイントの内容を復習する。
12	心理療法④	遊戯療法や芸術療法、家族療法などの、様々な心理療法について学ぶ。	心理療法全般について調べ、パワーポイントの内容を復習する。
13	事例と臨床①	摂食障害について学び、事例と対応について検討する。	摂食障害について予習し、検討内容について復習する。
14	事例と臨床②	複数事例からテーマを選び、事例への対応についてグループディスカッションを行う。	予習として事例検討に必要な基礎知識を整理し、検討内容について復習する。
15	セルフコントロール	セルフコントロールやストレスケアの方法について体験的に学修する。	セルフコントロールの方法について予習し、講義内容を復習する。
16	定期試験	筆記試験	